

広報

まちづくり情報誌

小田原

city of odawara public relations

9 2005
SEP
/1日号

重	備	い	『
要	え	う	い
で	る	と	ぎ
す	こ	き	』
	と	に	と
	が		

地震は来る！
必ず来る！



旧 山古志村は、棚田による農業や湖池での養鯉業が盛んで、その風景が美しいことから「日本の原風景」として紹介されてきました。

しかし昨年11月に発生した新潟県中越地震により、死者3人・負傷者25人を出すなど山古志地域は壊滅的な被害を受けました。

静かな農村から悲鳴が！

地域のほぼ全域で地すべりや崖崩れが発生し、道路はいたる所で寸断しました。地域の産業基盤であった棚田や養鯉池は流出し、家屋も約4割が全壊、河道閉塞による集落の水没など、甚大な被害が発生しました。

いまだに住民のかたがたは自宅から遠く離れた長岡市内の仮設住宅での生活を強いられています。



震災から一日も早く復興するため、長岡市には全国から総勢43人の職員が派遣されています。その内私を含めた12人が山古志支所建設課に配属され、支所の職員とともに全身全霊を込めた活動は現在も続き、道路などの復旧工事の設計や現場監理を行っています。



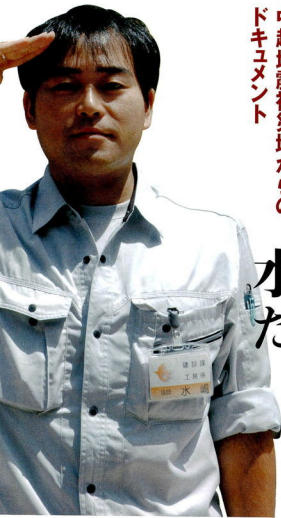
■新潟県中越地震
平成16年10月23日①
17時56分発生
震源地 川口町付近深さ13km
規模マグニチュード6.8
死者48人、重軽傷者4,794人、
家屋被害
約12万棟（うち全壊3,173棟）

■山古志村
中之島町他4村町と長岡市と合併し、新「長岡市」が誕生（H17.4）

中越地震被災地からの
ドキュメント

さとし
水嶋 聡
ただいま奮闘中！

私、水嶋聡、小田原市役所道路整備課所属の30歳。小田原市からの派遣職員として中越地震被災地の旧山古志村に赴任し、現在復旧作業中です！
全村避難した現場から、特別レポートをお送りします。





▲役場の正面玄関はひび割れ、事務所は震災当時のままに書類が散乱しています。無造作に置かれている時計は、被災時刻の午後5時56分を指したままで止まり、現在の静寂の中にも当時の震災のすごさを知らせることが出来ます。市長の到着時もけたたましい緊急出動の町内放送が、静かな山村に響きわたっていました。



小澤市長も被災地に！

私は今年4月に派遣されましたが、実際は雪解けまで復興事業ができませんでした。まだまだ当時の大災害の爪あととは、ぬぐいきれないほどの現状です。
季節が移り9か月ぶりに避難指示・勧告が解除された7月末、小澤市長も現状を確かめにやってくるされました。



【池谷】
▲小澤市長は、この家でも死者がでなかったことに、ほっと胸をなでわろしていました。不幸中の幸いにも中越地震で死者が比較的に少なかったのは、豪雪地域で茅葺が頑丈に作られていたからでしょう。



【榎木】
▲道路(写真右下)が崩れ、その下の牛舎で作業中の2名が犠牲になりました。生き残った牛はヘリコプターで救助されました。今なお、村の人々は、ここを通るたびに、深い悲しみとともに合掌をしています。



【木籠】
▲山水があふれたし、国道が川となり、土砂でこの付近の家の1階が埋まりました。写真中央の家は新築後1か月、総ビノキづくりのりばな家で、



複雑な岩盤構造の上に位置する小田原では、想定される東海地震、神奈川県西部地震など必ず地震がくると言われています。それは明日かもしれません。
美しい山にも今なお残る震災の爪あとの生活で感じることは、自然に対して人間はあまりにも無力であるということです。山古志村は、道路が崩壊し、近隣の町との連絡手段やすべての機能が寸断されました。小田原でも同じような状況に陥る地域が出てくる可能性もあると思います。大災害時には行政も隣近所もあてにはできないことも考えられます。自分の身は自分で守るしかありません。

自治会別に開かれる防災訓練などで、救出訓練や初期消火活動をしつかりと身につけ、いざというときに備えることが重要なのです。
私のメッセージを読まれたら、とにかく小田原のかたへの被害が、被災時に最小限となれば幸いです。 山古志村より 水島聡

自分の身は自分で守るしかありません。

小田原市民の皆さんへ

長岡市役所にて（肩書きは座談会時忠）
右…長島忠実

中…小澤良明（小田原市長）
左…小野塚進（長岡市取入役）

中に市民の悲鳴が響いていました。幹部職員がすぐに市役所に到着し、災害対策本部会議を開きました。しかし、激しい余震で全員が庁舎から避難する羽目になりました。

その時、リーダーは？

市長 本市でも東海地震を始める、今後数々の地震の発生が予想されています。私自身もかけがえない地域の皆さんの命を預かる自治体の長として、いざという時には覚悟を決めています。今回の非常事態の中で、自治体のリーダーとして何を思われ、何が頼りになりましたか。

長島 私は現状も見通しもわからぬ非常事態の中で、村長として数々の決断に迫られました。苦渋の決断もありましたが、まずは凛とした態度で「迷わない」ことが重要であると思いました。それらの決断は、日ごろから培われた住民との信頼関係があったからこそできたのではないかと思います。

だから私は村民の命を守ることを最優先に判断し、全村民避難の道を選択できたのです。



特別座談会

地域・自治体の危機管理能力

長岡市では、平成16年7月の水害にはじまり、秋には台風・そして中越地震、さらには年が明けての大雪と災害が次から次へとやってきました。

特に、予告もなく突然襲われた中越地震では、

地域や自治体はどのようにその災害に立ち向かったのでしょうか？

今なお災害対策本部で奮闘中のリーダーと小澤市長の座談会が、実現しました。

市長 皆さんにおかれましては大変な体験をされたと思います。まずは、中越地震に遭われた当時の状況をお話いただければと思います。

長島 私には何が起こったのか「ガラガラドシン」と1メートル持ち上げられたかと思った次は激しい横揺れに襲われました。電線が鳴り、大地が音を立て、水が流れ出る音を聞いて、初めて私たちの経験したことのない地震だとわかりました。

小野塚 長岡市では、停電で真っ暗な街



小野塚

地域の手結

超えた絶望と極限ともいえる緊張の中、一致団結することができました。

その点、山古志村は想像を超える絶望と極限ともいえる緊張の中、一致団結することができました。

住民同士の信頼関係は日常ある地域の祭や催事などで育まれます。「支えあう気持ち」を積み重ねることによって災害に強いまちが構築できると

思います。

市長

私は「まちづくりは人づくり」を信念のもと、防災をはじめ何事が起こっても動じないような強いまちを目指し、市政を進めておりますが、地域のコミュニティはうまく機能しましたか。

危機管理は人づくり

小野塚 私は住民に対して、いかに迅速に正確な情報を提供できるかということに一番努力を費やしました。いつまでもたつて情報がないという住民のストレスが一番大きいからです。携帯電話もダメ、固定電話もダメ、情報が錯ちする中、毎日、コミュニティFMとケーブルテレビでできる限りの情報を提供しましたし、報道のかたがたのお力もお借りしました。

市長

自治会総連合で予定しているシンポジウムの準備で、山古志村の隣町、川口町に行ってきました。

仮設住宅は、6畳2間、トイレ、風呂、ダイニングの取っ手です。「震度7はまず」だった。柱にのましても立てられないが、被災者は声をかけながらグラウンドに集まっていた。まず始めは火、みんなで薪を集めて暖をとった。そして食べ物、畑から大根をひっこ抜いて、米も、山の水もみんなで手分けして調達し

方に加え、国や県、さらに全国各地の皆さんからの支援があったですね。さらに、ボランティアの皆さんなくしては、災害を乗り越えられませんでした。全国からのメールに何度も何度も目頭が熱くなりました。

また、阿鼻叫喚ともいえる極限状態が続きましたが、不思議と住民から市の職員などへの不満も出ませんでした。

本市でも地震を想定してマニュアルの整備

被災地レポート

川口町



左：桜井さん、中：内山さん、右：星野さん

市長

自治会総連合で予定しているシンポジウムの準備で、山古志村の隣町、川口町に行ってきました。

を進めています。いざ地震が起こったら、必ずトラブルが生じ、想定されているような対応が難しいケースが多いと考えられます。その時、職員や自治会がいかに臨機応変に動けるかが重要になってくること、すなわち「人づくり」が重要であるということです。

市長

そのおとりだと思いませんか。今回の被災で「人」のありがたを痛感しました。

避難ヘリの最終便に乗り込んだ私

崩壊した建物が残る中、学校や保育園などのグラウンドには、所狭しと仮設住宅が建てられています。仮設住宅は、6畳2間、トイレ、風呂、ダイニングの取っ手です。「震度7はまず」だった。柱にのましても立てられないが、被災者は声をかけながらグラウンドに集まっていた。まず始めは火、みんなで薪を集めて暖をとった。そして食べ物、畑から大根をひっこ抜いて、米も、山の水もみんなで手分けして調達し

は、すべての皆さんに感謝しながら、今後の進むべき道を選び、託された大きな責任に戸惑いながらも故郷を離れました。

最後になりましたが、今回の被災に対しまして義援金・ボランティア協力など小田原市民の皆さんからの温かいご支援、並びに現在山古志村に常駐いただいている水嶋さんほか、現地で復興事業に多大なるご支援をいただいた29人の小田原市職員の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

変なものだった。でもすぐに欲が出て、寒さ、狭さに苦情が出だしたねえ。さらにここは壁が薄く、プライバシーはない。今でもストレスは大変なものだと内山さん。息子の話で、被災当時の思い出が生々しくよみがえったのか、何度も何度も「怖かった!本当に怖かった!」と繰り返す内山さんの母の姿が印象的でした。

土地のつながりが強い地域だけに、みんなでも何とか乗り越えていようと思えました。やはり人と人のつながりが一番です。食料の調達から、日常生活の確保まで、机上の論理だけでは災害を乗り越えることはできないのです。

レポーター
自治会総連合理事星野清治さん

地震が起きたら 自分が頼り

1

行動

地震発生時

- 落ち着いて、まずは自分の身を守る
- ドアや窓を開けて逃げ道を確認する

2

行動

地震発生直後

- 揺れがおさまったら火元を確認する
- 靴を履く(ガラスの破片などから足を守る)
- 海岸にいる場合、すぐにその場を離れてできるだけ高い場所に移動する
- 防災行政用無線に注意する

3

行動

地震発生数分後～10分後

- 非常持出品を準備する
- 隣り近所の安全を確認(特にひとり暮らしや高齢者の世帯には積極的に声をかけ、安否を確認する)
- ラジオなどで正確な情報を確認する(デマに注意)
- 家屋倒壊などの恐れがあれば外に避難する
- 家を出る前に出火防止対策を行う(ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る)

7月23日の午後4時35分、夏休み最初の週末を迎えた関東地方を強い地震が襲った。交通網はストップし、携帯電話はつながりにくくなった。さらに、ビルのエレベーターが止まって閉じ込められる人が相次いだ。小田原でも震度4。改めて都市型地震の恐ろしさとすぐそこに迫り来るXデーの影が見える教訓ともいえるできごとであった。いつてもおかしくない大地震。そのときあなたは、しっかりとした対応がとれるだろうか。

● 防災対策課 ☎ 33 1 8 5 5



地震発生!
あなたは行動できるか?

6

行動

避難生活中

- 自主防災組織を中心に行動する
- 集団生活のルールを守り、助けあいの心を持って生活する

5

行動

地震発生後3日くらいまで

- 水・食料などは蓄えているものでしのごく(3日分の飲料水と食料を備蓄)
- 災害情報、被害情報を収集する
- 壊れた家には入らない

4

行動

地震発生後

10分後～数時間後

- 隣近所で協力して消火や救出活動を行う
- 家が壊れて住めない場合は避難所への移動を開始する(車は使わない)



正しい利用にご協力ください！

命を守る救急車

●警防課 ☎49-4421

皆さんは9月9日が何の日かご存じですか。9と9で「きゅうきゅうの日」、すなわち「救急の日」です。

市消防本部の救急出動件数は年々数百件ずつ増加し、平成16年中には9,228件と過去最高件数を記録しました。これは、1日平均約25件、1時間に1回以上の割合で救急車が出動したことになり、いつ、どこで救急事故現場に遭遇しても不思議ではありません。

救急車が事故現場に到着するまでには、約6分かかります。その間に、適切な応急手当を行えるか否かが傷病者の生死に大きな影響を与えます。

また、統計的に見ると、救急車で搬送された傷病者のうち入院を必要としない、いわゆる「軽症者」の割合が半数以上を占めているのが現状です。

救急車の台数には限りがあります。

救急車の利用対象となる人が人や急病人は、医療機関などに緊急に搬送する必要があります。自分で病院にいける場合は、家用車やタクシーなどをご利用ください。ただしケガや病気が重いと思われる場合は戸惑うことも多く救急車を呼びましょう。一人でも多くの生命を救うため、救急車を正しく利用しましょう。

なお、近所からかかりつけ病院(医師)があると、急病などのときに頼りにできます。あらかじめ夜間や休日のとくにどのように対処してもらえなのか、相談されることをおすすめします。突然の事故から身近なあなたがたの尊い生命を救うため、「119番通報と応急手当の方法」(かかりつけ医療機関や緊急時連絡先)などを日ごろから話し合っておきましょう。

安否情報は広域避難所から

地震直後は、多くのかたが安否確認などに家庭の電話や携帯電話を使うため、一時的につながりにくくなります。



安否情報やメッセージを伝えるには「災害用伝言ダイヤルサービス(171番)」を使いましょう。

また、広域避難所にあるパソコンからも、インターネットを通じて、「小田原市防災情報システム」

を利用して安否情報の発信や確認ができます。小田原市防災情報システムのアドレス
<http://www3.city.odawara.kanagawa.jp/bosai/index.jsp>

小田原市防災マップはお持ちですか

以前に全戸配布しました。市内を5地域に分けた防災マップは関係施設などの情報が満載です。

お持ちでないかたには、市役所(防災対策課、市民窓口課)、支所・連絡所で配布しています。



防災情報メール 好評発信中

電子メールマガジンで防災情報を発信します。市内で災害時や行方不明者などが出たときに使用する「防災行政用無線」の放送内容をメールで読むことができます。万が一防災無線の放送が聞き取れなかったときに役に立ちます。

●事前登録が必要です
 申込用メールアドレスに空メールを送る→仮登録メールが届く→仮登録メールに記載されているURLにアクセス→必要事項を入力→登録完了
 申込用メールアドレス
email@mmz.city.odawara.kanagawa.jp

情報公開・個人情報保護制度の運用状況



市民の皆さんの請求に応じて、市の公文書を公開する情報公開制度と、市が保有している個人情報をご本人に開示などをする個人情報保護制度。これら2つの制度の16年度運用状況を報告します。

●行政情報センター ☎331288

情報公開制度の運用状況

平成16年度中に情報公開制度により公文書の公開請求を行ったかは151人、請求件数は274件でした。

主な請求内容・処理状況は、表1のとおりです。

個人情報保護制度の運用状況

平成16年度中に市が保有している個人情報の開示の請求を行ったかは14人、請求件数は14件でした。

また、市が保有している個人情報の内容の訂正を求めた請求や、その取り扱いの是正を求めた申し出はありませんでした。

主な請求内容・処理状況は、表2のとおりです。

なお、平成16年度の情報公開・個人情報保護制度の運用状況の詳細をまとめた報告書を、行政情報センターで配布する予定です。

【表1】情報公開制度の運用状況

請求内容	担当課	決定	非公開理由
1 建築計画概表書	建築指導課	公開	/
2 評定分布表	学校教育課		
3 ○○中学校区 各教科の評価規準一覧表			
4 教育委員会臨時会・定例会会議録	教育総務課 (現・教育政策課)		
5 入札調書(平成16年度小学校用業務委託関係)	管財契約課		
6 平成17年度共通物品単価契約落札業者	議会事務局		
7 経済厚生常任委員会(平成16年12月13日開催)の会議録			
8 市立病院医事業務委託契約書及びびり様書	経営管理課	一部公開	印影偽造防止のため
9 私道相談カード	建築指導課	一部公開	個人に関する情報のため
10 火災調査報告書	消防総務課		

【表2】個人情報保護制度の運用状況

請求内容	担当課	決定	不開示理由
1 市立病院のカルテ	医事課	開示	/
2 家屋見取図調査書、家屋評価調査書	資産税課		
3 診療報酬明細書	保険課		
4 印鑑登録証明書交付申請書	戸籍住民課 (現・市民窓口課)	不存在	開示請求者以外の個人情報が含まれているため
5 戸籍簿・抄本等請求書		一部開示	
6 住民票写し等請求書		一部開示	

城下町大使の剣持恒男さん 日本エスコフイエ協会の会長に



小田原・城下町大使として、ご活躍されているホテルオークラ名誉総料理長の剣持恒男さんが、日本エスコフイエ協会の4代目会長に就任しました。

この協会は、近代フランス料理の祖であるオーギュスト・エスコフイエの弟子たちがフランスで結成した会にちなみ、フランス料理の普及と発展を目指して設立された団体。平成14年には内閣府から特定非営利活動法人の認定を受け、会員数千人を超える協会として、幅広い活動を行っています。毎年11月に開かれている「板橋・秋の交流会」では、剣持さんとエスコフイエ協会との協力による「小田原ブイヤベース」が好評です。

7月に開かれた就任祝賀会には、小澤市長をはじめ分野を超えた多くの有名人が集まり、剣持さんの会長就任を祝いました。

満足度向上行動計画がスタート

第3回市民満足度重要度調査結果がまとまりました



●行政経営室 ☎33-1305

回収率は61・5%

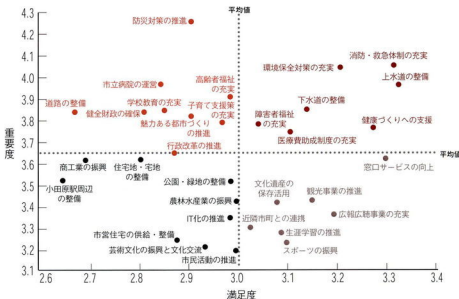
この調査は、限られた財源や施設、人員の中、市が今後どのような分野に重点的に取り組むべきかを決める参考とするため、日ごろ市民の皆さんが、行政の取り組みがどのくらい重要と考えているかをお尋ねするものです。市内在住の18歳以上のかた3,000人を対象に、平成14年度から毎年行っており、今年3月に行った第3回調査では、61・5%にあたる1,845人のかたから回答をいただきました。

市民の皆さんの目線に立ち、市民ニーズを汲み上げることを目的とした本調査も定着し、市政運営を行ううえ

防災事業への重要度が大きく高まっています

での重要な参考資料となっています。

第1回から第3回の調査を通じ、「窓口サービス」への満足度が毎回向上し



ています。また、「市立病院の運営」に対する満足度も、少しずつですが向上しています。

一方、「小田原駅周辺の整備」に対する満足度は、第2回(15年度)調査で向上しましたが、今回調査では低下

しています。今回の調査で注目すべき点は、防災事業の重要度が、他の事業分野に比べ抜きん出て高いことです。相次ぐ自然災害も影響し、市政に対する重要度が高まっています。

市民の皆さんの選択により満足度が低い分野に予算を重点配分します

市では、今年度につづき、来年度予算でも、小田原ヒルトン社からの貸付収入の一部約1億円を、市民の皆さんに直接還元していただいた事業分野に優先して配分する予定です。

重点配分の対象となるのは、上記のグラフの左上の部分にある、他の事業分野に比べ「重要度」が高いにも関わらず「満足度」が低いもの(●)のうち、次の6分野です。

- 道路の整備
- 子育て支援策の充実
- 学校教育の充実
- 高齢者福祉の充実
- 魅力ある都市づくりの推進
- 防災対策の推進

満足度向上行動計画がスタート

この調査の目的の一つは、市民の皆さんの満足度を向上させることです。過去の調査でも、いただいたご意見をもとに事業を見直してきましたが、今年度は、より満足度を向上させるための行動計画をスタートさせます。現在計画を策定中ですので、具体的な内容は今後お知らせします。



まちじゅうがキャンパスに！
あなたも「スカラーおだわら」を目指ませんか

10月1日からスタート 「キャンパスシティおだわら」

～おだわらルネッサンス推進本部事業～

人々が「学び」、学びが「知恵」を呼び、知恵が「活力」を生むという考えのもと、おだわらルネッサンス推進本部で検討を進めている「キャンパスシティ構想」。その中心となる事業がいよいよ始まります。

◎キャンパスシティおだわら事務局(生涯学習政策課内) ☎331712
おだわらルネッサンス推進本部(企画政策課内) ☎331315

「キャンパスシティおだわら」って？

キャンパスシティおだわらは、皆さんの学びの記録を市が認定するシステムです。

対象講座は、必修講座と一般講座があり、必修講座10回以上を含めて100回受講すると修了証を交付し、「スカラーおだわら」に認定します。中学生以下のかたは、必修講座が10回未満でも「スカラーおだわら」近として認定します。

- 対象となる講座は、
- おだわらシルバー大学公開講座
- 成人学校
- きらめき☆おだわら塾
- 市民法律セミナー
- 防災講演会

まち全体を学びの場に

キャンパスシティ構想とは、小田原の持つさまざまな資産を生かして、まち全体を学びの場としていこうとするもの。皆さんが、目標を持って学びを積み重ねることで、さらに大きな広がりを持つようしようというので、この事業のねらいです。

協力店舗などを募集！

- この事業を応援してくれる店舗などを募集しています。
- 次のようなご協力をいただける場合はご連絡ください。
- ①生徒手帳の提示で特典が受けられる
 - ②チラシを置く情報発信基地になる
 - ③ミニ講座に会場を提供する

スカラーおだわらの道

- ①キャンパスシティおだわら生徒手帳を入手する。
手帳は、市役所(生涯学習政策課)、中央公民館、尊徳記念館、マロニエの窓口で有償頒布(実費300円)しています。
【特典】小田原城天守閣、小田原城歴史見聞館、尊徳記念館などで入場料を割引
- ②広報「おだわらいふ」などで「C」のマークが表示されている対象講座を受講して確認シールをもらう。
- ③生徒手帳に受講記録を記入し、確認シールを貼る。
- ④受講回数が100回になったら、キャンパスシティおだわら事務局へ申し込む。
- ⑤スカラーおだわら認定。

期間は特に定めません。自分のペースでチャレンジしてください。

※スカラー：学者、学問のある人



学ぶことで 生活や環境が 変わる

私には、書道を通して「生きがい」や「心の豊かさ」を見つけたお手伝いをしています。

今、生涯学習は趣味、教養だけでなく、福祉、環境など大きくまちづくりにつながっているものもあります。生涯学習は「自由にテーマを見つけ、いつからでもいつまでも、楽しく学び、それが自分の内面だけでなく、生活や環境をも変える力になる」。そんな可能性も持っている私は思います。

皆さんも「今日から「学び」」のステップを一つ昇り始めませんか。

きらめき☆市民教授
堤千恵子さん

んが。

小児医療費の 助成対象をさらに 拡大

お子さんが病气やけが、虫歯などで医療機関を受診した際に、保険診療の自己負担分を助成する小児医療費助成。10月1日から対象年齢を5歳児まで拡大します。

●保険課 ☎331843

今年度の予算編成の際、市民アンケートを行い、要望の高かった分野に市民税の1パーセント相当額の約1億円を配分しました。小児医療費助成の対象年齢拡大もその一つです。

助成対象となる医療費は、保険診療の自己負担金などで、食事代、差額ベッド代、健康診断、予防接種、そのほか保険外の費用は対象外です。

拡大分の医療証は、10月1日時点で5歳児で、4歳のときに医療証を持っていたかたは、保護者の所得を審査のうえ、該当であれば9月末までに拡大分の医療証を送ります。

また、現在医療証をお持ちの4歳児のかたは、5歳になったときに所得を審査し、該当であれば、5歳児の医療証をお送りします。10月1日現在、4歳、5歳児で、4歳児の医療証をお持ちでないかたには申請案内をお送りしますので、ご覧になり、所得額が限

年齢ごとの助成範囲(10月1日以降)

年齢	所得限度額未満		所得限度額以上	
	通院	入院	通院	入院
0歳	○	○	○	○
1～5歳	○	○	×	×
6歳～中学校卒業	×	△	×	×

○…医療証を保険証と一緒に医療機関の窓口で提示すれば、保険診療分の医療費はかかりません(県内のみ、県外は△と同じ)。

△…いったん医療機関の窓口で自己負担分を支払い、その後、申請により市から自己負担分を指定口座に振り込みます。

×…小児医療費助成制度の対象外です。

度額未満たと思われるかたは申請してください。
年齢ごとの助成範囲は、表のとおりです。

市アスベスト問題対策会議を設置

今、環境問題、健康問題として騒がれているアスベスト。本市の取り組み状況を報告します。

●環境保護課 ☎33-1482



アスベスト(石綿)は、繊維状の天然鉱物の総称です。耐熱、絶縁などの特性から、住宅の断熱材や車のブレーキパッドなどに使われていました。

市では、これにかかわる市民の皆さんの健康対策をはじめとする、さまざまな課題に適切に対応するため、市橋助役を会長として総合的なアスベスト対策を検討する庁内組織、「小田原市アスベスト問題対策会議」を7月29日に設置しました。

今後、国、県の動きに注意しながら情報を集めるとともに、継続的に対策会議を開きます。

対策会議の下に、公共施設対策、健康問題対策、一般建築物対策を検討する三つの担当部会を設置し、具体的な課題の対策を検討しています。

なお、市の公共施設のアスベスト使用状況は現在調査中ですが、学校施設には、昭和62年にアスベスト対策を講じてあります。そのほか市民の皆さんが利用する施設にもないと思われませんが、調査結果がまとまり次第、なるべく早くお知らせします。

また、一般住宅などの建材に加工されたアスベストは固められ、飛散しなければ安全ですが、増改築をするときは、工事業者に相談してください。

今、小田原駅前が熱い!

しみん学習フロアに続き、小田原駅前ビルに注目の施設がオープンします。中心市街地の拠点がまた一つ仲間入りすることになります。

起業を目指すかたに朗報!

～支援センター開設～

地域産業の活性化を目指し、その新たな担い手となる起業家の発掘と支援を図るため、小田原駅前ビル4階(しみん学習フロア隣)に「おだわら街なか起業家支援センター」を開設します。

●小田原TMO事業推進室 ☎23-1811
産業政策課 ☎33-1519

お

だわら街なか起業家支援センターは、生まれたばかりの小さな企業が独り立ちできるように、場所の提供などさまざまな支援をするために、市が整備する施設です。

このセンターには、中小企業診断士の資格を持つ「インキョーベーションマネージャー」も配置しますので、ビジネス全般、会計や財

務管理などへのアドバイスはもちろん、マーケティングの支援や補助金などの公的支援制度、資金調達に関する情報提供も行います。これから事業を起こそうとしているかたや創業して間もない経営者のかたには、うってつけです。

なお、センターは民間まちづくり機関である小田原TMOが運営します。詳しくはお問い合わせください。創業5年未滿またはこれから起業しようとするかた

利用基準

創業5年未滿またはこれから起業しようとするかた

利用期間

2年以内
業務スペース (大)月額6万円
(小)月額3万円

利用料金

そのほか、特別共益費あり

●ブース6室

20㎡1室、10㎡5室
サポートスペース

創業支援やTMO活動のスペースです。



しみん学習フロアはとっても便利!

東口から徒歩1分の駅前ビルに

●しみん学習フロア ☎24-6310

駅

前ビルに入り、エレベーターで4階まで上がると、そこには明るい雰囲気のリビングフロアが広がります。

学習室をのぞくと色とりどりの和紙を片手に、和気あいあいと作品づくりに取り組む和紙ちぎり会の活動中でした。その山本三重子会長にお話を伺いました。

「私たちは定期的にこの施設を利用しています。今年で24年目の活動となります。市民会館などの公共施設を利用してきましたが、このしみん学習フロアは小田原駅から徒歩1分の旧丸井ビルにあるので、今までの拠点の中で、一番使いやすいですね」と。

小田急・箱根登山などさまざまな鉄道を使って、約30人の仲間が集まっているといいます。「施設はオープンな雰囲気、受付のかたも親切!芸術文化活動や学習

▼紅波会(こうはかい)のメンバー
「紅は女性を意味し、波は小田原の海をイメージしています。のり・ピンセット・小筆があれば、だれでも会員になれます。会費は無料です。」と山本会長(左から2番目)。



の場として最適です。成果発表の場として展示スペースも使えます。ぜひ、皆さんも利用してください。しみん学習フロアは小田原駅前ビルの4階。大きな看板が目印です。

●営業時間 9時～21時30分 要予約

田中明宏 (関東学院大学3年生)
この記事は、私が市役所広報広聴聴室にインターンシップ派遣生として研修中に取材しました。



輝く小田原人



番組を支えるリポーター 天野真知さん(小田原市出身)

小田原生まれ、日本大学芸術部卒業後、NHK横浜放送局のリポーターに。現在、FM放送(83.5MHz)で月2回金曜日の18時~19時に放送中の「さこほまポトススタジオバーントリッパー」。

「大学生になって小田原を出たとき、家を借りようと思つたら南向きの家が少なくて。小田原とのギャップに驚いたという。

「今でも実家があるので小田原には行きますよ。やっぱり買い物などは慣れた小田原が一番」と天野さん。

天野さんはもともアナウンサーを志望していたわけではなかった。「大学入試の面接ではラジオドラマを作りたい」と答えた。アナウンサーを目指すきっかけとなったのが、大学の演劇部での活動。部活で殺陣を取り入れた立ち

回りの舞台を考えるんです。そこで、自分を表現することがとても面白く感じました。そして、自らが表現する職業に就きたいと、NHK横浜放送局でリポーターに。
NHKでの仕事は単に原稿を読むだけでなく、自分で話題を探し、取材して進行を考えて放送するというもの。「原稿を読むだけのアナウンサーと違つて、もともとやりたかった番組制作の仕事もできるので楽しいですよ。始めは結構厳しかったんですけどね」と微笑む。天野さんは今日までの話題を探して東奔西走しているはず。声もかきつけてみて下さい。そのままラジオ出演なんてこともあるかもしれないですよ。

今年のみかんはとつても甘い



ハウスみかんは今が旬



小田原の果物といつて真っ先に思い浮かぶのはやっぱりみかん。みかんには「コタン」に入つてというイメージがありますが、片浦では今ハウスみかんが旬を迎えています。JAおだわら片浦地区ハウスみかん部会長の興津和雄さんにハウスみかんについて伺いました。

◎農政課 ☎331491 JAおだわら ☎380125

相模湾が一望でき、あまりの美しさから「東洋のリビエラ」とも言われる片浦地区、童謡みかんの花咲く丘のモデルとなったこの地区は、昔からみかん栽培が盛ん。「海が近いから

海面の照り返して多くの光が果実に降り注ぐし、潮風もあっているからかな」と興津さん。
今、農協の小田原管内でハウスみかん農家は22軒。片浦地区はそのうち12

軒と半数以上を占める。「品質的にいいものが取れるからやっぱり多いんだよ」。ハウスみかんの栽培は露地栽培より気が抜けないという。12月からハウスを暖かくしていき、温度を間違えると木が全滅してしまう。また、室内が暖かい分、病害虫もつきやすいという。「なるべく農薬は使いたくないし、毎日こまめに見にこないとうらなつちやうか。正月もないよ。今の時期は台風も怖いよね」と厳しい顔。繊細なハウスみかんは風でこわれるだけで傷がついてしまう。
しかし、栽培に手間がかかる分、ハウスで温度や雨水などの水分量を調整できるので、おいしいみかんが育つという。「今年のみかんは特に良くできています。例年になく甘いよ」興津さんがい

こやかに答えた。
興津さんの農園をはじめとする片浦地区のハウスみかんは、これからJAおだわらを通じて全国に出荷されます。皆さんも一度食べてみてはいかがでしょうか。



9月11日は選挙の日！

9月11日は衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の投票日です。皆さん、そろって投票しましょう！

◎選挙管理委員会 ☎331741



投票所数 市内53か所
時間 午前7時～午後8時

愛情はたっぷり、責任はしっかりと！9月20日から26日は**動物愛護週間**！

動物のふん尿の処理や犬の係留、猫の室内飼育に努めることなどは飼い主のマナーです。ペットはしつづけをきちんとし、近隣に迷惑をかけるないようにしましょう。



動物を飼うには覚悟が必要なんです

県獣医師会 小田原支部前支部長
村山 義則さん

ペットは家族、社会の一員として、飼い主の皆さんには責任をもって飼ってほしいですね。動物を飼うには、ただ可愛いからだけでなく、それなりの覚悟、心構えが必要なんです。

以前よりだいが意識は高くなつたと思いますが、一部のかたが、外出時にふんを処理しなかつたり、放し飼いをしたり、狂犬病の予防注射を受けていなかつたりしています。

動物を育てることは、子どもたちが命の尊さを学ぶよい機会ですから、マナーをしっかりと守ってほしいですね。

今 回の選挙は、先の衆議院解散を受けてのもので、選挙資格のあるかたは、昭和60年9月12日以前に生まれたかたです。

選挙当日は、選挙管理委員会から送付された入場整理券をお持ちのうえ、指定された投票所で投票してください。

投票していただくのは、1票でも多数の支持を得られたかたが当選するしくみの「小選挙区制」と、政党に投票して地域ごとの得票数により議員数を割り振る「比例代表制」からなる衆議院議員総選挙に加え、最高裁判所の裁判官が適任かどうかを判断する「最高裁判所裁判官国民審査」の三つです。

なお、当日都合が悪いかたは、事前に投票する「期日前投票」の制度もあります。

※期日前投票
選挙当日に仕事やレジャーなどで予定があり、投票にいけないかたが事前に投票する制度。

衆議院議員総選挙は8月31日(木)から、最高裁判所裁判官国民審査は9月4日(日)から、投票日前日の9月10日(土)までの毎日受け付けています。

投票場所は次の2か所です。どちらでも投票できますので、ご都合のよい方へお越しください。

- ①市役所2階 展示・広報ロビー
- ②8時30分～20時
- ③マロニエ1階 エントランスホール
- 8時30分～17時

水清らかなる地域に**希望の施設オープン!**

市内2館目の地域センター「城北タウンセンターいずみ」がオープン。8月6日の落成式で、名付け親の石綿典子さん(蓮正寺在住)からお話を伺いました。

◎城北タウンセンターいずみ ☎379111



一番右側：石綿さん

「蛸田駅と富水駅の中間に位置するセンターなので、豊か当から水のイメージで、「いずみ」で当初から決めていました。やさしい響きの中にも感じる力強さ。この名のとおり、地域の憩いの場としてやすらぎを与えてくれたらうれしいですね。館内は明るくおしゃれなデザインで、パリアフリーにも配慮されています。全館に漂う木の香りの中で深呼吸して、孫とキッズルームでくつろぐ。地下水を利用したせせらぎを眺めながら、ロビーの本に気軽に手を伸ばすのもいいですね」

大学生がまちに刺激を与える

素材豊富な小田原で研究を

市では、広く市内外の大学の授業や研究活動の受け入れ、支援を行う窓口として、平成15年度に「大学コミッション」を開設。現在、この制度を利用し、東京学芸大学の学生たちが、小田原で調査研究しています。

政策総合研究所 331239

「大学コミッション」とは？

大学コミッションは、市政策総合研究所の研究活動から、大学生が地域に入り調査研究を行うことが地域の活性化につながることを確認したことから始まりました。

若者たちが、地域のかたがたと触れ合うことで活力が生み出され、地域の魅力の再発見にもつながると考えています。具体的には、①行政資料などの提供、②市民・市民団体・産業界などとの連携、③公共施設の利用紹介、④宿泊

施設の紹介などの支援を行っています。**東京学芸大学の取り組みから**

■社会科学の学習プランを作成

今年度の受け入れ先の一つとして、主に小・中学校の社会科学教師を目指す、東京学芸大学の大学生・大学院生60人（社会科学教育研究志）が、研究を行っています。学芸大では毎年、1地域を選び、その地域色を生かした社会科学の授業プランを学生たちが作成する授業を行っています。

研究対象の条件は、四つか五つのテーマが設定できる地域。小田原では大学コミッションという支援を受けられることが後押ししました。

■学生60人が実地調査

調査は、①地場産業、②農業、③水産業、④歴史、⑤観光を視点とした「まちづくり」学習の五つの班に分かれて行われています。5月以降、市役所や

■「観光を通して社会参加を学ぶ」

企業・店舗などを訪問し、取材。7月末には小田原で合同し、実地調査や班ごとに学習指導案を発表し合いました。この発表に、教員などからの意見を踏まえて再調査した後、11月に大学で最終報告が行われます。

大学院生の班では、社会科学の新しい視点として観光に着目しました。「自分の住んでいるまちとは、知っているようで意外と知らないもの。市外のかたに自分のまちをPRするの視点を意識することは、まちを客観的に見直す機会。地域への誇りや愛着を育てることもつながる。子どもたちが社会への参加意識をもち、まちづくりはどうかかわっていくのかを考えるスタートになるのでは」とメンバーの一人は言います。

市外の若者たちの目に映る小田原。住んでいる私たちが気づかない新しい発見をしてくれそうです。もし、皆さんのところに大学生が調査に訪れたときは、協力してくださいね。



▲実地調査で小田原駅周辺をまち歩きする学芸大の学生。
「今日は、子どもたちの視点に立って、まちの調査をするんです」



▶小田原駅周辺の土産物屋で、店主の話に真剣に耳を傾ける。



▲全編小田原を素材とした小学校3・4年生用の社会科学教科書（教育出版刊）。小田原は、教科書や副読本に取り上げられるケースも多い。

小田原の豊かな自然を守るために…



市では、低公害車の普及に率先的に取り組んでいます。
このことが評価され、関東ブロックで低公害車の普及に功績があった者に贈られる低公害車普及大賞(主催:関東ブロック低公害車導入促進協議会※1)を、今回自治体として唯一受賞しました。



環境政策課 ☎33-1474

第2回低公害車普及大賞を受賞 低公害車の走るまち・おだわら

幅広く施策を展開

市では、平成10年度に「低公害車の走るまち」を基本コンセプトに、低公害車普及促進計画を策定し、市民・事業者・行政を構成員とする「おだわらエコカープロジェクト(小田原市低公害車普及促進会議)」を設立。三者が連携して、エコカー体験フェアといったイベントや低公害車学習会をはじめとするさまざまな事業、環境負荷の少ない運転の励行など、普及活動を行っています。

市公用車の約30%が低公害車

市の公用車にも低公害車を率先して導入し、平成17年3月現在、全車両323台中105台

※1: 関東ブロック低公害車普及促進協議会
関東ブロックでの低公害車の普及を進めるため、国土交通省関東運輸局を中心に、経済産業省、環境省、県内都県、政令市、経済団体などにより、平成14年に組織されました。

※2: 駐車料金の一部減免制度

市では、低公害車(電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車)の普及を図るため、低公害車の駐車料金を一部減免しています。事前申請していただく証明書とステッカーを交付し、栄町駐車場の利用1回につき初めの1時間分が減額になります。

さわやかおだわら
環境省 国土交通省 認定

(電気8台、天然ガス17台、ハイブリッド6台、その他低燃費・低排出ガス認定車74台)、高水準の導入率となっています。

これら他市に先駆けた取り組みが評価され、今回の大賞の受賞となりました。これからも、地球温暖化の防止、そして小田原の豊かな自然を守るため、低公害車の普及事業を積極的に展開していきます。

前より3倍以上 環境にやさしい

昨年ハイブリッドカーを購入した

石川 芳雄さん(南鴨宮在住)



環境を考えるなら、車に乗らなければよいのですが、通勤や買い物、レジャーに欠かせないものとなっています。ならば、できるだけ環境負荷の少ないものを選び、買い替えるのにあたり、ハイブリッドカーを選びました。

納車後、伊豆半島一周旅行をしてびつくり。燃費が26km/ℓと、前に比べて3倍以上。つまり、環境にも3倍以上やさしいということ。購入時は割高ですが、家計にもやさしく、妻も喜んでいました。また、モニターを見ず、急発進や急加速がいかにエネルギーを無駄にするかが分かり、人にもやさしい運転ができるようになりました。